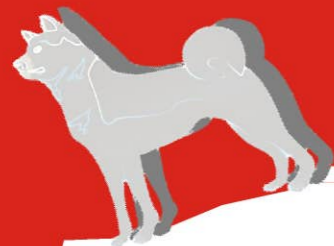


笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山
 熊本市中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階
 電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232
 E-mail:sasaeriaobiya @kyouninkai.jp
 平成30年1月 http://www.kyouninkai.jp/obiya

第41号



謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜りまして、誠に有難うございました。さて、昨年は「在宅医療・介護連携」の事業では、がんサロンの視察研修や住民の方々への在宅療養に関するアンケート調査、そして在宅医療推進フォーラムを開催させて頂きました。「生活支援・介護予防」の事業では、いきいき百歳体操や、民間企業との生活支援体制づくりの立ち上げと運営に関与させて頂き、「認知症施策」におきましても二つの小学校でキッズサポーター養成講座を開催させて頂きました。また「高齢者・障がい児ノ者虐待防止ネットワーク」も次のステップに向う計画をしております。職員一同地域の皆様に感謝申し上げます。本年も、地域で支え合える環境づくりの取り組みを、より進化・推進して参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

センター長 那須久史



お “帯山”圏域で

び ビジョンを共に考え

や 山あり谷ありのなか

ま 全う致します

よ さらに気持ちを

さ 刷新し

え エネルギーを蓄積しつつ

り 理念を踏まえ

あ 明るい未来に向けて

kids supporter

認知症キッズサポーターとは、高齢者や認知症について正しく理解し、普段の生活の中で認知症の人を見守り、応援する子ども達の事です。特別なことが求められる訳ではなく、困っている認知症の人を見かけた時に声をかけるなど、簡単な手助けをします♪今回は、帯山小学校と帯山西小学校で開催した「認知症キッズサポーター養成講座」をご紹介します！

kids supporter

帯山小学校4年生！



さすがは6年生！認知症についての質問にもどんどん答えが返ってきました。民生委員さんや事業所さんとのグループワークでは、アイデアを凝らした優しい対応を沢山発表してくれました。「困っている人が居たら助けてあげたい！」「優しく声をかける！」など、明るくはつらつとした子ども達の笑顔に、私達の方がパワーをもらい優しい気持ちを教えてもらえた気がします♪

認知症ってどんな病気？の説明から始まり、グループワークを通して、認知症の人の気持ちや接し方を皆で一緒に考えていきました。校区の民生委員さんや、圏域の事業所さんに協力して頂きながら、「優しい気持ち」を皆で深めていけた様に思います。後日、子ども達から届いた手紙には「これから困っている人が居たら優しく声をかけたいと思います！」と嬉しい言葉が沢山綴ってありました。

帯山西小学校6年生！



1月に入職しました。中熊彌和（なかぐまみか）です。至らない事も多いかと思いますが、お役にたてるよう頑張ります♪どうぞよろしくお願ひします。趣味：食べ歩きです♪色んな情報、お待ちしております！



Baby! 1月20日から産休に入ります！切通（旧：山下）好実です！元気な赤ちゃんを産みまーす♪



1月いっばいで退職することになりました。事務の山下です！長い間大変お世話になりました。またどこかでお目にとまった時は、是非お声かけ下さい♪



★編集後記★
 昨年一月、日本老年学会より「新しい高齢者の定義と区分」が提言されました。学会によると、近年の高齢者の心身の健康は、十〜二十年前と比較すると、加齢に伴う身体的機能の変化の出現が遅延し、データから「若返り」現象がみられるそうです。圏域の皆様を改めて拝見致しますと、ウォーキングやジョギング、地域活動やサロンなど元気に通っている方や、笑顔で地域活動をサポートしている方をあちらこちらで見かけます。「元気に年を重ねていけるような地域づくり」のお手伝いを、今後も職員一同させて頂きたいと思っております。
 本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。
 上村 佳子



校区のサロン活動・交流会紹介

託麻原校区つながるサロン交流会



発表の中で、「サロンは高齢者の閉じこもり予防に重要な役割を担っている」、「継続して取り組んでいく必要がある」等の意見が出ていましたよ♪

第1回目となります“託麻原校区つながるサロン交流会”が9月13日(水)に開催されました！託麻原校区では、現在、全14町内のうち11町内にサロンが立ち上がっており、その全てのサロンから、関係者の方々約60名以上の参加がありました。この交流会は、日頃のサロン運営に関する悩みや工夫している事など情報交換をすることで、今後のサロン運営に役立てていくことを目的とされています。各サロンの報告(自慢大会)の後に、ワールドカフェ方式でグループワークを行い、これからのサロンのあり方についての意見交換も行われていました。

11月27日(月)、帯山校区のサロン交流会が開催されました。帯山校区では、本年度中、全町内にサロンが立ち上がっています。そこで、この会では「現在どの様な内容でサロンを実施しているのか？」の報告が行われていました。“運動中心のサロン”や“食事があるサロン”など、どれも個性的で工夫された内容でした。一方、内容がマンネリ化しているのでは？人が増えないのはなぜ？なども話題に上がり、他のサロンからのアドバイスや情報提供が行われ、各サロンが主体的に新しい事を取り入れたり、担い手の発掘をしたりと今後の活動の糧になったのではないのでしょうか。

帯山校区サロン交流会



『今後も、第2回・第3回と続けていきたい！』と米満会長からもコメントがありました。

帯山西校区2・4町内サロン



専門の職員による体力測定やアドバイスを受け、目標への意欲も高まりますね♪

帯山西校区2・4町内合同で“いきいき百歳体操”が始まりました！毎週水曜日・午前10時から帯山会館にて実施されています。DVDを見ながら40分程体操が行われており、現在は、約20名の地域の方々が集まっています。他町内からの参加も可能で、参加費は無料です♪半年に1回は専門職による体力測定も行われる予定ですので、皆さんも是非参加されてみてはいかがでしょうか♪

身近な地域で人と人とのつながりを深める事が重要です。何らかの形で、地域や近隣の人との接点を持つことで“ふれあい”が生まれ、それがお互いに支え合える環境づくりとなり、それは生活する上での安心の確保にも繋がります。



地域ケア会議

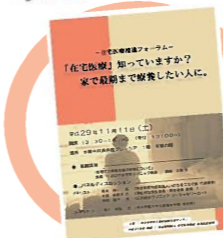
11月16日(木)に、サービス付高齢者向け住宅花鏡の地域交流スペースで開催。今回の議題は、団地にお住まいの方のケースについて専門職だけでなく、地域住民の方にも参加して頂きました。話し合いの中では、熊本地震以降、地域住民の皆さんも“地域とのつながりの大切さ”を感じていらっしゃるようで、皆さん大変熱心にお話しをされました。今回のケースを通じて、専門職の動きを地域住民の方にも知って頂くきっかけとなりました。対象となられた方のご家族の問題を、地域の課題として考える小さな一歩となればと思いました。ささえりあ帯山は、地域にお住まいの方のお困りごとを、一緒に知恵を絞り考えていく窓口を目指しています。



市民公開講座

平成29年11月11日、水前寺共済会館グレースにて、～在宅医療推進フォーラム～“在宅医療”知っていますか？家で最後まで療養したい人に”を開催致しました。

フォーラムは2部形式となっており、第1部の基調講演では、おびやま在宅クリニック院長宮崎久義氏より、在宅医療がどのような形で行われているのかを、実例を元にお話しして頂きました。高齢になっても自宅で療養できる選択肢がある事、自宅で最期を迎える事ができる選択肢がある事、そして本人の意思と家族の協力、周りのサポートが大切とお話されました。第2部のパネルディスカッションでは、熊本学園大学社会福祉学部准教授の黒木邦弘氏の司会進行のもと、3人のパネリストの方に登壇頂き、各々の立場や体験談を踏まえたお話しをして頂きました。今回のフォーラムが地域の皆様にとっても、専門職の方々にとっても、在宅医療を考えていくきっかけづくりになったのではないかと思います。



…………… 特定非営利活動法人いのちをつなぐ会代表理事高濱伸一氏

“がんサロンの運営する側”と、“(自身も)がんを患っている当事者”の両方の立場から在宅医療について、また“死”について考え、子ども達に伝えていく事の重要性をお話されました。



…………… 帯山校区民生委員・児童委員会米満美恵子氏

ご自宅で姉妹の在宅療養・看取りをした体験談から、専門職側の説明不足、情報提供の不十分さ、また、サロンの運営する側として、「死」についてあるいは、「どういう最期を迎えるか」等の話も、今後は参加者同士の信頼関係を築き、気軽に話し合えるサロンづくりをしていきたいと話されました。



…………… におさかクリニックソーシャルワーカー寺町聡子氏

ご勤務されているクリニックでの“デイホスピス”や“在宅ホスピスボランティア”の取り組みについて紹介され、ソーシャルワーカーとしてボランティアを在宅チームの一員として活動できるサポートをしている役割などを話されていました。

